社会科学習指導案

日時：　令和５年１２月１５日（金）第５校時

場所：　１年２組　教室

**１　単元名**　地理的分野「世界の諸地域」　第３節　アフリカ州

**２　単元設定の理由**

（１）教材観

　　本単元は、学習指導要領の地理的分野の内容B「世界の様々な地域」の（２）「世界の諸地域」に関するものである。州ごとに主題を設けて、様々な側面から地域的特色を取り上げ、その生活が営われる場所の自然及び社会的条件を理解させることをねらいとしている。また、世界の各地域でみられる地球的課題の要因や影響をその地域的特色を踏まえることを意図した構成となっている。本節「アフリカ州」では、「貧困」、「経済支援」を単元の主題とし、自然環境や経済構造、社会の状況変を地域の人々の生活と関連付けて多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することで、アフリカ州の国々が貧困に苦しむ要因等を捉えさせたい。

（２）生徒観

（略）

（３）指導観

　　本単元の課題として、「なぜアフリカ州では貧困に苦しむ人が多いのか」を設定し、毎時間の授業の最初に確認することで見通しを持って取り組ませる。立てた予想に基づいてグループで調べ学習を行い、話し合いを行う。また、インターネットを用いて調べ学習を行う際に、情報の精選・吟味・出典・引用といった情報を正しく扱う姿勢や技能を身に付けさせたい。そのために、情報を扱う活動の中で必要感を持たせながら、情報を扱うルールを生徒自身で考えさせていきたい。

**３　単元の目標**

（１）アフリカ州の人々の生活を基に、アフリカ州の特色や貧困の要因について理解できる。また、諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べ上げてまとめることができる。　　　　　（知識・技能）

（２）アフリカ州で貧困に苦しむ人が多い要因を、地域内の結びつきなどに着目して、地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現することができる。　　　　　　　　　　　（思考・判断・表現）

（３）アフリカ州で見られる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に、そこで見られる課題を主体的に解決しようとすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　（主体的に学習に取り組む態度）

**４　本時の目標**

アフリカ州で貧困に苦しむ人が多い理由を多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することができ

る。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（思考・判断・表現）

**５　単元の指導計画（総時数７時間）**

　　単元の課題「なぜアフリカ州では貧困に苦しむ人が多いのか」

（１）アフリカ州の大観、単元の課題の見通しと予想　　　　　　　　　　　　　・・・２

（２）テーマ設定、調べ学習（資料探し）　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・１

（３）発表資料の作成、資料の精選　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・２（本時１/２）

（４）発表　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　・・・１

（５）単元のまとめ、アフリカ州の人々にできる経済的支援　　　　　　　　　　・・・１

**６　研究主題との関連**

　視点１　学習意欲を喚起する学習課題の設定の工夫

　・　単元の課題設定により毎時間の見通しをもたせる。

　・　ICT機器を用いた資料提示により興味・関心を喚起する。（生徒の探した資料の提示や比較）

　視点２　他者とのかかわりから、自分の考えの深化を図る表現活動の工夫

　・　意見の比較・共有する場の設定（グループでの調べ学習、情報の吟味）。

　・　ICT機器を活用した表現活動。

**７　学習過程（50分）**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習活動・内容 | 時間 | 学習形態 | ◆　指導・支援の留意点  ◎　評価 |
| 課題の設定 | １　単元の課題を確認した上で、前時まで調べた資料を見る。    ２　本時の課題を確認する。  情報をどのように活用して、アフリカ州で貧困に苦しむ人が多い理由を発表資料にまとめるとよいか。 | 10 | 一斉 | ◆　同じことを示すグラフでもグループの中で違う情報を示されるグラフや、情報の根拠がないものを提示し、揺さぶることで、資料を精選・吟味することの必要感を持たせる。  ◆　前時までに生徒から集めた資料を予め教師の方で把握しておく。  ◆　自分たちが発表で資料を使う際に、どのようなものを使えばよいか考える。 |
| 課題の追究 | ３　冒頭で示した情報を確認しながら、資料の吟味、精選を行う視点を確認する。  ・　出典や根拠を確認する。  ・　情報の最新性を確認する。  ・　同じ事象については複数の情報源で確認する。  ・　事実か意見かを判断する。  ４　班で、どのような資料を使うかを確認しながら、発表資料の厳選を行う。  ・　どの資料を使うのか。必ず全員で確認を行う。  ・　その資料が本当に正しいかどうか根拠を確認したり、複数のサイトで確認したりする。 | 10  20 | 一斉  班 | ◆　実際に調べた資料を用いて確認することで、どのようなことに注意して情報の精選・吟味するかをわかりやすく理解させる。  ◆　複数人で精選・吟味を行うことで、資料を見る視野を広げさせる。  ◆　３で示した視点を視覚化する表「調べ学習の掟」を作成し、生徒に確認させながら情報を精選・吟味することができるように支援する。  ◆　机間指導の中で、生徒が悩んでいることや良いと思った確認の方法は、すぐに全体で共有させる。 |
| まとめ | ５　本時をふり返り、次時につなげる。  ・　複数のサイトで確認することで、いろいろな視点から考えをまとめることができた。  ・　説明の根拠が示されているものかどうか確認し、正しい情報で発表資料を作成できた。 | 10 | 個人 | ◎　アフリカ州で貧困に苦しむ人が多い要因を、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することができる。　　（ノート） |

**８**　**板書計画**

課題　なぜアフリカ州では貧困に苦しむ人が多いのか。

課題　　情報をどのように活用して、アフリカ州で貧困に苦しむ人が多い理由を

発表資料にまとめるとよいか。

まとめ

調べ学習の掟

・　出典を確認する。

・　情報がいつのものかを確認する。

・　説明の根拠となるものを探す。

・　複数のサイトをみて情報を確認する。

提示資料

（ICTも活用）

１年　組　　調べ学習の掟

※授業で確認したことを書き足していこう。

※社会のファイルにとじよう。